

Cytiva試薬比較

*Plate

27mm glass bottom dish

*Coating

0.01% PDO sol'n 37°C 2hr → 10ug/mL Laminin 37°C 2hr → PBS stock

*Medium condition

1) Neurobasal

Neurobasal	50mL
200mM L-Glutamine	0.5mL
B27 supplement serum-	1mL
<u>Primocin</u>	0.1mL
FBS 0.5mL	
200mM Sodium Ascorbate	0.05mL

*Mouse

1) E13 C57BL6/J fetal SN/VTA

*Cell count

1) 約 0.5×10^5 cells/cm²

細胞の酵素消化

- 1) 0.25%トリプシン→0.1%DNaseI含有FBSで停止→20回x2セットのピペティングで細胞の解離
- 2) Cytiva試薬の標準プロトコルに基づき実施

※掲載している内容はあくまでご使用いただいたお客さまのサンプル・実験条件に基づくものであり、製品の品質を保証するものではないことをご了承ください。また、投稿いただいた内容のうち、実験手法に関する箇所は弊社推奨の使用方法を個別に検討・改善された結果を含んでいる場合があります。ご参考にされる場合は、お客さま各位の責任において実施していただきますようお願い申し上げます。

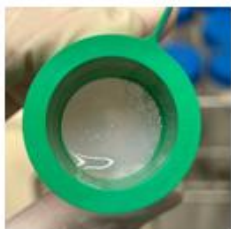
組織分散用酵素：Dissociation Enzyme Mix お客様の声：ご投稿画像・データ



お客様の声No. 020 順天堂大学

酵素消化後70umセルストレイナーを通した

0.25% Trypsin



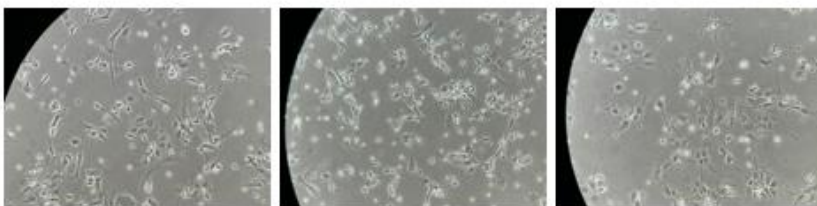
大きな残留物なし
細胞死の割合は5%未満

Cytiva



大きな残留物なし
細胞死の割合は5%未満

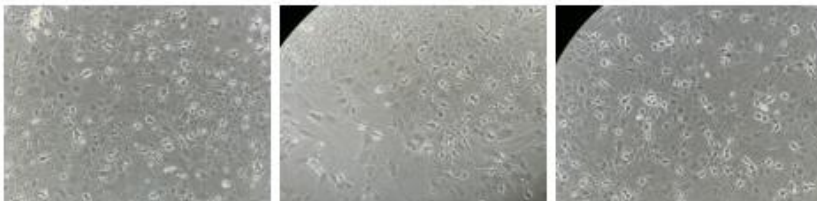
DIV3



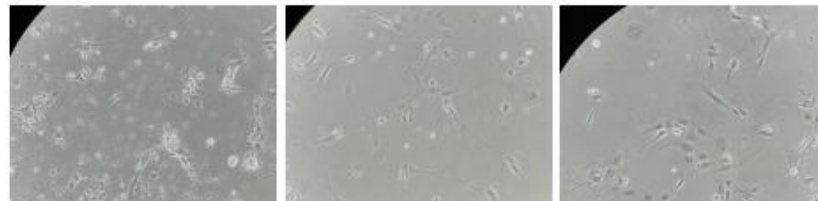
DIV3



DIV6



DIV6



細胞の状態に大きな差はないがやや神経細胞の接着が弱い印象

※掲載している内容はあくまでご使用いただいたお客さまのサンプル・実験条件に基づくものであり、製品の品質を保証するものではないことをご了承ください。また、投稿いただいた内容のうち、実験手法に関する箇所は弊社推奨の使用方法を個別に検討・改善された結果を含んでいる場合があります。ご参考にされる場合は、お客さま各位の責任において実施していただきますようお願い申し上げます。

<https://www.cytivalifesciences.co.jp/technologies/tissue-dissociation/voc/dissociation-enzyme/index.html>